

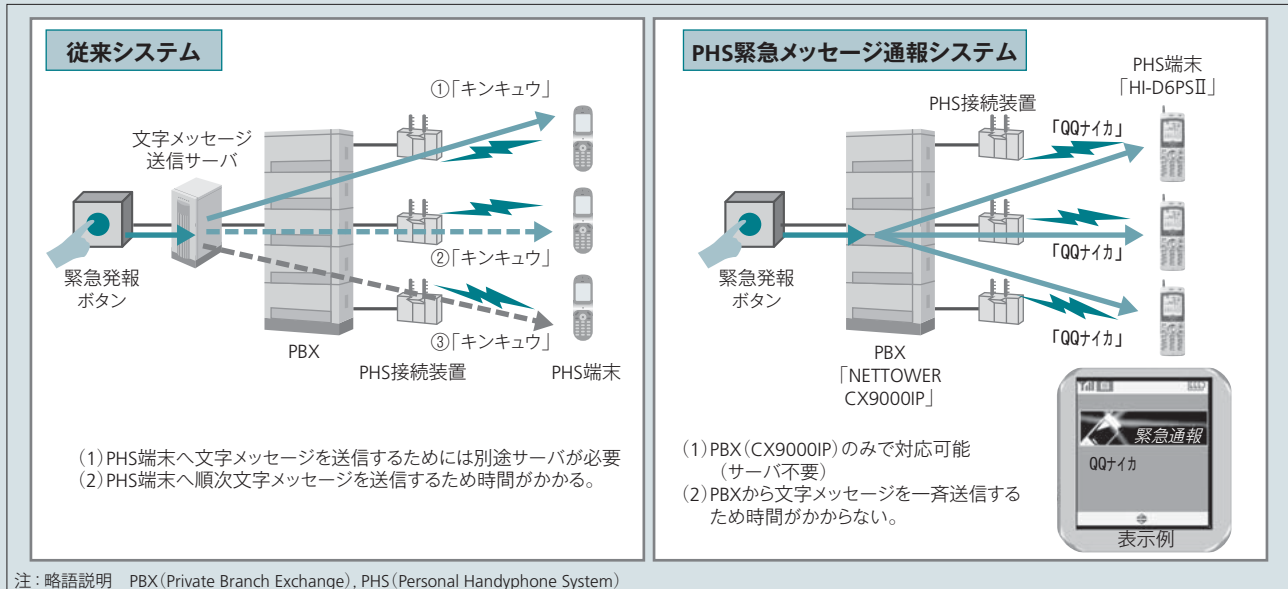
PHS 緊急メッセージ通報システム

PHS 緊急メッセージ通報システムは、PHS の制御チャネルを利用した独自制御を考案して実現したメッセージ一斉通報システムである。

これまでの順次発信方式の文字メッセージ送信システムと違い、

最大 120 台の PHS 端末にほぼ同時 (1 秒～最大 5 秒) にメッセージを送信することができる。

例えば、病院で利用した場合、緊急時における医師や看護スタッフ間の連絡が迅速になり、最善の対応が可能となる。



システムの特徴 (病院向けシステムの例)

メッセージを最大 120 台の端末へ一斉送信可能

従来のシステムでは、複数の構内 PHS (Personal Handyphone System) 端末へメッセージを送る場合、文字メッセージ送信サーバが必要で、このサーバが PHS 端末一台ごとに順次発信するため、端末の数が増えると、すべての端末にメッセージが到達するまでに時間を要した。そのため、一刻を争う場面の多い病院では、救急搬送時の現場の応援要請等で瞬時に同報連絡できるシステムへのニーズが高かった。

PHS 緊急メッセージ通報システムは、特殊なサーバが不要で、緊急呼出端末から 1～5 秒で最大 120 台までの構内 PHS 端末にメッセージ [最大半角 9 文字 (例:「QQ ナイカ」)] を一斉に送信できる。さらに構内 PHS 端末が通話中であつたとしても、端末のスピーカから音で知らせ、通話終了後端末画面でメッセージを確認できるため、瞬時に、また確実にメッセージを届けられ、病院での緊急要請に対し、即座に適切に対応できる。

緊急呼出端末ごとに送信メッセージを登録

緊急呼出し時は、院内に設置した緊急呼出端末の操作 (緊急発報ボタンの押下や多機能電話機からの特番発信)

で PHS 緊急メッセージ通報システムに対応した PBX (NETTOWER CX9000IP) にメッセージ送信の指令をする。緊急呼出端末ごとに表示するメッセージは、CX9000IP に 50 種類まで登録できる。

緊急通報を音と色で知らせる PHS 端末

このシステムに対応した構内 PHS 端末 (HI-D6PS II) は、カラー液晶ディスプレイを搭載しており、メッセージの見落としを極力削減するため、緊急メッセージを受信すると緊急着信音鳴動とともに端末画面背景がオレンジ色の点滅をして緊急メッセージの受信を知らせる。

メッセージは緊急着信履歴に 20 件まで残り、「既読／未読」の分類が可能である。

PHS 緊急メッセージ通報システムは、病院だけでなく、学校・駅の不審者対策や工場のライン監視などの用途が考えられ、さまざまな業種で活用が期待される。

◆お問い合わせ◆

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社
情報・通信グループ
通信ネットワーク事業部
企業ネットワーク本部 ビジネス推進部
担当：杉浦
Tel：045-881-1221 (大代表)